



日本肺癌学会肺がん検診委員会からのお願い

アールエフ社製 Naomi および New Naomi をご使用の胸部検診実施機関の先生方へ

拝啓

秋冷の候、先生方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は肺がん・結核検診、胸部検診に関して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本肺癌学会肺がん検診委員会では、有効な肺がん検診の実施にむけ、様々な取り組みを行っています。その取り組みの中で、各自治体の検診現場から「アールエフ社のデジタル X 線撮影システム (Naomi および New Naomi) にて撮影された胸部単純 X 線写真は、二次読影に提出される画像をみると全体に白い場合があり、読影には適さないのではないか」というご意見が寄せられました。肺がん検診委員会がアールエフ社を訪問して調査したところ、付随する現行のソフトウェアは撮影後に胸部画像として最適化する画像処理方法や CD へのコピー方法がやや複雑であることが問題の原因と考えられました。特に、保存した複数の撮影画像を一括して CD にコピーする際に、ユーザーの意図に反して未処理画像がコピーされている可能性があったことが判明しました。そのため、本委員会としましては、ソフトウェアの改良が必要であると結論しました。

本委員会との協議をへて、アールエフ社にはこのたび付随するソフトウェアのバージョンアップを行っていただきました。その結果、**バージョンアップされたソフトウェアであれば、肺がん検診に最適化された画像を確実に二次読影に提出できる**と考えられました。日本肺癌学会では、推奨する肺がん検診用の胸部撮影機器を学会ホームページ上で公開しています。今回アールエフ社のソフトウェアがバージョンアップされたことを踏まえ、本委員会は、**「アールエフ社のデジタル X 線撮影システム (Naomi および New Naomi) は、バージョンアップされたソフトウェアを使用する場合にのみ、肺がん検診用胸部撮影機器として推奨する」**ことにいたしました。

アールエフ社のデジタル X 線撮影システムを用いて肺がん・結核検診、胸部検診を実施されている先生方には、是非ともソフトウェアのバージョンアップを行っていただき、引き続き肺がん・結核検診へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2016 年 10 月 吉日

日本肺癌学会肺がん検診委員会
委員長 佐川元保